

第1回中野区自転車等駐車対策協議会 議事要旨

1. 日時・場所

令和4年5月26日（木）午後3時から午後4時20分
区役所1階特別集会室

2. 協議会の様子



3. 議事

- (1) 計画の概要
- (2) 現計画の評価、現状と課題について
- (3) 協議会の進め方について

【主な意見】

- (1) 計画の概要
- (2) 現計画の評価、現状と課題について
 - 現在、自転車を使ったまちの賑わい創出などが注目されている。新たな計画では、自転車関与交通事故や放置自転車の問題に取り組みつつも、自転車利用を促進できるとよい。
 - 最近、電動自転車のように利便性が高い一方で危険性も持つものが浸透してきている。この10年間で変わってきたものを取り入れるべきではないか。
 - 駐輪場の料金は、駅に近く便利な箇所は高くし、駅から離れたところは安くするなど工夫ができるとよい。政策的に難しい部分もあるかも知れないが、今後議論していきたい。
 - 買い物と飲食では滞在時間が違い、駐輪時間も異なる。商店街に共同駐輪場を設置することも考えられるが、買い物目的の人は、そこに駐輪してお店まで来ないのでは。
 - これまでの放置自転車対策は通勤通学での自転車利用に重点を置いていたが、買い物

や飲食等での利用も考慮しながら検討を進める必要があるのではないか。

(3) 協議会の進め方について

- 区内でもエリアごとに自転車の利用状況は異なると思われるため、エリアによって計画の濃淡が必要になるのではないか。
- 自転車と駅との連携が取れた環境を、早く整備することができるとうい。
- 場所によっては駐輪場が無く、自転車が活用できない状況であるため、駐輪場が拡充されるとよい。
- 自転車店としては、自転車マナー・ルールの周知や自転車の点検・整備・修理を重点的に行い、整備不良車を減らせるような努力を続けていきたい。
- 駐輪場の高い位置にあるラックは、高齢者や女性には使いにくい。また、ラックの間隔がもう少し広いと自転車の出し入れがしやすい。
- 自転車の飛び出しやイヤホンをつけたまま運転している人が見受けられるため、安全教育が大事になるのではないか。
- 次回以降の協議会では、地域ごとの課題や駐輪場整備の考え方、料金に関する先進的な事例等も示していただきながら議論していきたい。